

マーケットの動き（2021年2月22日～2月26日）

先週の米国国債市場は、前週末比で金利が上昇しました（債券価格は下落）。米国10年国債利回りは、25日までじりじりと上昇していたものの、入札不調をきっかけに一時1.61%まで上昇しました。しかし、26日になると米国株式相場下落により上昇幅の一部を戻しました。

ドイツ国債市場も、前週末比で金利が上昇しました（債券価格は下落）。

投資環境見通し（2021年2月）

長期金利は、米国では上昇余地は限定的、欧州（ドイツ）ではレンジ内での動き

米国：新政権が約1.9兆ドルの追加経済対策を推進するとの見通しを背景に、足元では長期金利上昇に対する警戒感がみられます。しかし、上院において与野党の議席数が拮抗しており早期の同対策成立は困難とみられています。また、国債の増発については財務省によるFRBの未使用金活用で規模は抑えられ、さらにFRBによる国債買入れや投資家の債券需要で吸収可能とみられること、实体经济については改善ペースが鈍化していることなどを考慮すれば、長期金利の上昇余地は限定的と考えられ、一進一退の動きを予想しています。

欧州（ドイツ）：新型コロナウイルスの感染再拡大が経済に与える影響が懸念される一方、年後半には景気が持ち直すとの見方もあり、狭いレンジ内での動きを予想しています。

	2月26日	変動幅（騰落率）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
10年国債利回り（米国、%） （変動幅）	1.46	0.12	0.42	0.77	0.15
FTSE世界国債インデックス 除く日本、円ベース（騰落率）	494.41	0.05%	0.02%	▲0.22%	1.83%

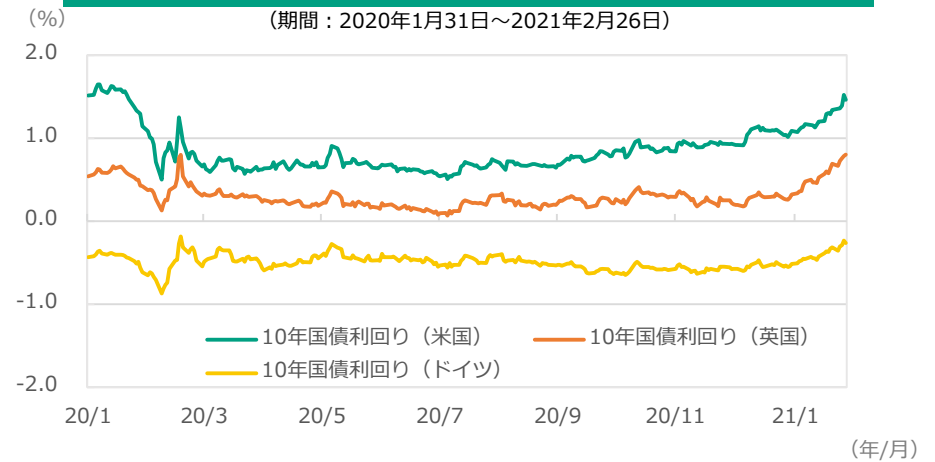
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202102_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

主要国国債利回りの推移



FTSE世界国債インデックスの推移



※2020年1月31日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成